

科目名（英文表記）	ビジネスワークショップ（Business Workshop）		
科目区分	ビジネスワークショップ	単位数	2 単位
担当教員名	旗本智之・猪口純路・内田純一・ 小林敏彦・玉井健一・手島直樹・ 関隆教・井馬智行（非常勤講師） ・李濟民（非常勤講師）	ナンバリング	MBA_W_BW 6511
授業の内容及び方法： 次頁以降に記載			
授業の目的： 本授業はこれまで履修した授業科目、とりわけ実践科目で習得した知識とスキルを総合的に駆使して、個人レベルでケース分析、ビジネスプラン作成あるいは技術シーズの事業化構想を行うことにより、より体系的な分析能力を向上させることを目的とする。授業におけるディスカッションを通して、各個人のケース分析、ビジネスプラン、事業化構想の成果物を練り上げることに重点を置く。ここで作成したケースレポート、ビジネスプランまたは事業化構想の成果物は「リサーチペーパー」での発表を経て、最終レポートとして提出される。到達目標はこれまで学んだ知識やツールを的確に使用し、MBAディグリーホルダーに相応しい最終レポートを仕上げることにする。			
使用教材： 参考文献：小樽商科大学ビジネススクール編『MBAのためのビジネスプランニング（改訂版）』同文館出版、2012年。 小樽商科大学ビジネススクール編『MBAのためのケース分析（三訂版）』同文館出版、2020年。 小樽商科大学ビジネススクール編『MBAのためのビジネスプランニング手法』、2010年。 上記以外の参考文献については、授業において、適宜、紹介する。			
成績評価の方法： 以下の点に基づいて成績評価を行う。 課題 60%（最終レポート及び事後課題） 授業への参加度 40%（発表・ディスカッション等） なお、評価に不服のある場合には、不服申立書を以て、教務委員長に申し出ること。			
履修上の注意事項： ① 実践科目を履修済みであること。 ② 5時限を超えて欠席すると自動的に不可となる。 ③ 定期試験の時間分を含めた形で行うため、モジュール4の授業は通常通り、10:30～17:40の時間帯で行う。 ④ 課題の締め切りおよび守秘義務は厳守とする。 ⑤ 技術シーズの事業化構想はビジネスサポート研究会としてプロジェクトベースで進められていく。プロジェクトの結成などについては別途manabaを通じて周知する。			